

佳作

## わたしのあさがおうしゅくの

鹿児島県 霧島市立日当山小学校一年 永田 悠莉

がっこうのじゆぎようで四がつにうえたわたしのあさがおは、なかなかはなをさかせてくれません。となりのともだちのあさがおは、四つもさいているのに。

わたしは、くやしくてまいにちみずをあげながら、はながさくようにおねがいました。

だけど、わたしのあさがおは、はっぱとつるだけがのびて、一がっきがおわってもはなはさきませんでした。かなしくなって、

「どうしてわたしのあさがおさかないの。」

とおとうさんにききました。おとうさんは、

「いっしょにしらべてみようか。」

といって、ふたりで「あさがおだいさくせん」をかかんがえました。

「あさがおだいさくせん」

①のびたつるをきる。

②あさがおねつとをはる。

③ひりょうをあげる。

④まいあさ、みずをあげる。

これが、おとうさんとかんがえた「あさがおだいさくせん」です。きっとこれで、はながさいてくれるはずです。

ねつとをはるときは、むしがたくさんとんできてこわかったけど、はながさいてほしいので、がんばりました。みずをあげるときはうきうきしました。

はながいつさくのかたのしみで、まいあさどきどきしながらかーてんをあげました。

しばらくして、あさがおのつぼみを見つけました。「いよいよあしたは、はながさくのかなあ」とびあがるほどうれしくなって、すぐにおかあさんにつたえました。

つぎのひに、はなはさかなかったけれど、つぎつぎにつぼみができるのがうれしかったです。

あるひのあさ、とうとうあさがおのはながさきました。いろは、わたしがすきなみずいろでした。それから、むらさきやぴんくのきれいなはなが、まいあささきました。わたしのいえのわには、あさがおねつといっぱいにひろがったあさがおがともきれいです。うれしくてかぞくみんなでしゃしんをと

りました。

わたしとおとうさんがかんがえた「あさがおだいさくせん」は、だいせいこうでした。そのあとは、みができてたくさんのたねがとれました。

はじめは、はながさかないあさがおをみて、まいにちかなしかったけど、あきらめないでよかったです。らいねんもたくさんのはなをさかせられるようにがんばります。